

認定NPO法人ピーク・エイド（理事長 野口健）

ヒマラヤ氷河湖決壊による洪水被災地支援活動に関して

8月16日、ネパール、ソルクンブ地区ターメ村が大洪水により大きな被害に遭いました。以前から危惧されていた、地球温暖化による氷河湖決壊洪水（Glacial Lake Outburst Flood=GLOF）であると考えられています。この洪水で、家屋54戸、学校、診療所などが被害を受けました。幸いにも、洪水が起きたのが日中だったこともあり、人的被害はありませんでしたが、着の身着のまま逃げた村人135人は避難生活をしており、小学校に通っていた児童たちは、親元を離れ、隣村クムジュン村の小学校に疎開し、学校に寝泊りしながら、勉強をしています。

私たちは、ターメ村の被災地支援をするべく「ヒマラヤ洪水基金」をたちあげ、疎開している子ども達のサポート、復興への支援などを行うことといたしました。

エベレスト街道にあるターメ村は、もとは、とても静かで美しい村でした。2015年ネパール大地震の際にも、大きな被害を受け、ほぼ全ての家屋が損壊してしまいました。村人は、数年かけて、復興させ、元の生活を取り戻したところでした。私たちは、ネパール地震の後に、避難所となる公民館の建設の支援や、ランドセルプロジェクトで子ども達にランドセルを配るなど、幾度となく交流をはかってきました。追い打ちをかけるような今回の災害で、被災した多くの人たちは、成す術もなく茫然とするばかりです。

また、発電所も被害に遭い、ターメ村、クムジュン村、ナムチェバザール村など、この地域一帯が停電しており、電気も携帯電話もつながらない状況となっています。発電所の復旧までには、半年はかかると言われていています。私たちは、彼らが少しでも早く、復興できるように可能な支援を行っていきます。

具体的支援

- ・ 停電地域へのソーラーランタンの支給
- ・ 避難所となる大型テントの支給
- ・ 疎開している子ども達のサポート（衣料品や文房具など）
- ・ 家屋の復建のための支援
- ・ 必要な医療品などのサポート

詳細に関しては、[認定NPO法人ピーク・エイドのHP](https://peak-aid.or.jp/news/2024/09/himalaya-flood-fund.html)に記載しています。

(<https://peak-aid.or.jp/news/2024/09/himalaya-flood-fund.html>)

野口健 SNS(野口健公式ブログ、X、Instagram、FB などでも、現地の状況を発信しています)

問い合わせ先：認定NPO法人ピーク・エイド 0555-25-6217 info@peak-aid.or.jp